

# 命

命を大切に、植物人間動物みんな一緒、価値がある

作者独特の表現

2つの幻灯を比べて

苦しみから楽しさを見つける

過酷な話が五月

蟹の子供らが最後まで命を全うした『やまなし』を食べる十二月

二つの幻灯を比べることによって命がどれほど大事に分かる

日光の砂金、水銀、金剛石など少し大袈裟に表現している。その文は光や泡などを表現しているから、どんなものにも同じだけ価値があり金や銀のように光れるということなんじゃないか？賢治さんの植物動物人間みんな一緒同じ価値があるという生き方だと思う

対比をつかって読む人に考えを対比してもらいたい命の重みを伝えようとしていたのではないじゃないか？（五月と十二月で対比する）